

平成20年度論文・報告等執筆一覧

[総務部]

- ・総務部(2008)：測量法、同施行令及び同施行規則の改正概要，建設関連業月報，2008年5月号，22-26
- ・総務部(2008)：測量行政懇談会「測量成果の活用に関する提言書」の概要，建設関連業月報，2008年5月号，27-30
- ・小清水寛・藤村英範・坂部真一(2008)：諸外国と我が国の測量士資格制度について，国土地理院時報，第116集，45-59

[企画部]

- ・企画部(2008)：「地理空間情報活用推進基本計画」の概要，建設関連業月報，2008年5月号，5-11
- ・測量指導課(2008)：作業規程の準則の改正について，GIS NEXT，第24号，68
- ・測量指導課(2008)：地理空間情報と公共測量作業規程の改定について，測量，2008年4月号，20-22
- ・地理空間情報企画室(2008)：地理空間情報活用推進基本計画，建設の施工企画，第706号(平成20年12月号)，10-14
- ・地理空間情報企画室(2008)：「地理空間情報活用推進基本計画」における国土地理院の取り組み，国土地理院時報，第116集，25-33
- ・塩谷俊治・原野崇・沼川邦男・高瀬昌宏(2008)：平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震に関する国土地理院の対応，国土地理院時報，第117集，1-2

[測地部]

- ・岩田昭雄(2008)：北海道地域の三角点標高成果改定について，国土地理院時報，第116集，1-8
- ・岩田昭雄・成田次範・田上節雄(2008)：平成19年(2007年)新潟県中越沖地震に伴う基準点成果の改定について，国土地理院時報，第116集，35-44
- ・高橋保博・鈴木実・土井弘充・佐野伸明・黒田次郎・森下一・横川 薫・渡辺政幸・高畑嘉之・橋本栄治・大島健一・川口保(2008)：都市再生街区基本調査について(2004~2006)，国土地理院時報，第116集，61-69
- ・成田次範・米溪武次・越智久巳一・高橋信雄・岩田昭雄・石川典彦・芝公成・岩田和美・針間栄一郎・檜山洋平・齋藤郁雄・大中泰彦・高橋伸也・森下遊・高畑嘉之・佐藤輝美・志賀保信・小林勝博・東海林靖：平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震に伴う基準点測量成果改定に向けた取り組みについて，国土地理院時報，第117集，7-13
- ・雨貝知美・鈴木啓・和田弘人・藤原みどり(2008)：干渉合成開口レーダーを用いた平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震に伴う地殻変動の検出，国土地理院時報，第117集，15-20
- ・木暮弘幸・菅原準・横川正憲・住谷勝樹・平岡喜文・瀬川秀樹・根本盛行(2008)：平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震に伴う機動観測(緊急路線調査・機動観測高精度三次元測量・GPSによる間接水準測量・REGMOSによる電子基準点データの転送)，国土地理院時報，第117集，21-32
- ・雨貝知美・鈴木啓・和田弘人・藤原みどり・飛田幹男・矢来博司(2008)：干渉合成開口レーダーを用いた平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震に伴う地殻変動の検出，国土地理院時報，第117集，15-20
- ・石原操・嵯峨諭・根本悟・石倉信広・白井宏樹・片桐百合子(2008)：地磁気連続観測点における人工擾乱，CONDUCTIVITY ANOMALY 研究会 論文集，113-118
- ・根本悟・石原操・嵯峨諭・石倉信広(2008)：国土地理院における地磁気測量の現状について，CONDUCTIVITY

ANOMALY 研究会論文集, 119-126

- ・町田守人・小門研亮・岩田悦郎・重松宏実・栗原忍・和田弘人・松坂茂・農澤健太郎・谷本大輔(2008) : 国土地理院機関報告, 2007 年度 VLBI 懇談会シンポジウム集録, 18-21
- ・高橋保博(2008) : セミ・ダイナミック補正への取り組みと今後の展望, 地理空間情報フォーラム 2008 シンポジウム: ひろがる衛星測位シンポジウム「資料集」, 58-60
- ・小門研亮・栗原忍・松坂茂(2008) : VLBI Activities in the Past 10 Years at Tsukuba 32m VLBI Station and Correlator (つくば 32m VLBI 観測局・相関局における 10 年間の VLBI 活動), 測地学会誌, 第 54 巻第 4 号, 221-231
- ・高橋保博(2008) : セミダイナミック補正への取り組みと今後の展望, 月間「測量」11 月号特別企画「測量と測位—地理空間情報フォーラム 2008 から—」, 11 月号, 10
- ・小門研亮・町田守人・栗原忍・松坂茂(2008) : Tsukuba 32-m VLBI Station (つくば 32m VLBI 観測局), IVS 2007 Annual Report (国際 VLBI 事業年次報告 2007 年版), NASA/TP-2008-214162, 102-105
- ・重松宏実・岩田悦郎・町田守人・和田弘人(2008) : Tsukuba VLBI Correlator (つくば VLBI 相関局), IVS 2007 Annual Report (国際 VLBI 事業年次報告 2007 年版), NASA/TP-2008-214162, 151-154
- ・高野和友・木股文昭(2009) : 1945 年三河地震 (M=6.8) に伴う地殻変動と震源断層モデルの再検討, 地震, 第 62 巻 2-3 号, 85-96
- ・松坂茂・Pengfei Cheng・John Manning(2008) : Report for the 14th PCGIAP Meeting, Working Group 1 Regional Geodesy (第 14 回 PCGIAP 第 1 作業部会報告), Report 14th Meeting of the PCGIAP (第 14 回国連アジア太平洋 GIS 基盤常置委員会報告)
- ・栗原忍(2008) : Permanent Component Geographical Survey Institute, Tsukuba, Japan (機関紹介 国土地理院), IVS Newsletter Issue (国際 VLBI 事業時事通信), 22 号, 2-3
- ・松坂茂・重松宏実・栗原忍・町田守人・小門研亮・谷本大輔(2008) : Ultra Rapid UT1 Experiment with e-VLBI (e-VLBI による超高速 UT1 計測), IVS 2008 General Meeting Proceedings (国際 VLBI 事業第 5 回総会集録), 68-71
- ・松坂茂・和田弘人・岩田悦郎・重松宏実・栗原忍・町田守人・小門研亮・谷本大輔・農澤健太郎(2008) : VLBI Activities of Tsukuba 32-m Station and Tsukuba Correlator (つくば 32m VLBI 観測局およびつくば VLBI 相関局の活動報告), IVS 2008 General Meeting Proceedings (国際 VLBI 事業第 5 回総会集録), 98-103
- ・松坂茂・和田弘人・岩田悦郎・重松宏実・栗原忍・町田守人・小門研亮・谷本大輔(2008) : The Past Decade of Tsukuba 32-m VLBI Station (つくば 32m VLBI 観測局の過去 10 年間を振り返る) IVS 2008 General Meeting Proceedings (国際 VLBI 事業第 5 回総会集録), 104-108
- ・和田弘人・栗原忍・小門研亮・重松宏実・福崎順洋・中島俊夫・谷本大輔・向井泰子(2009) : 国土地理院機関報告, 2008 年度 VLBI 懇談会シンポジウム集録, 228-231
- ・石井敦利・市川隆一・瀧口博士・岳藤一宏・小山泰弘・栗原忍・小門研亮・谷本大輔(2009) : クワッドリッジホーンアンテナを用いた電波望遠鏡の測地 VLBI における性能評価, 2008 年度 VLBI 懇談会シンポジウム集録, 20-23
- ・高島和宏(2009) : 国際 VLBI 事業 (IVS) 活動状況報告, 2008 年度 VLBI 懇談会シンポジウム集録, 31-33

[測図部]

- ・岡谷隆基(2008) : 「だいち」による地形図修正について, 地図中心, 2008 年 4 月号特集, 10-13

- ・藤村英範(2008) : Reversal of Cartographic Generalization Effects Using Satellite Imagery (衛星画像を用いた地図編集成分の除去) , 写真測量・リモートセンシング・地理情報, 2008 年第 5 号, 363-373
- ・内山裕一・本多美涼・水田良幸・大塚孝治・石関隆幸・岡谷隆基・田村栄一(2008) : Revising 1:25,000-Scale Topographic Maps Using ALOS/PRISM Imagery (だいち PRISM 画像による 2 万 5 千分 1 地形図の修正) , 国土地理院報告, 第 56 巻, 1-15
- ・藤村英範・南秀和・佐藤壮紀・下野隆洋(2008) : Verification of Topographic Road Centerline Data Using ALOS/PRISM Images: Implementation (だいち PRISM 画像による地形図道路中心線検証システムの作成) , 国土地理院報告, 第 56 巻, 27-36
- ・林孝・中澤尚・平塚喜久男・石関隆幸・高橋祥(2008) : 平成 20 年 (2008 年) 岩手・宮城内陸地震災害に関する測図部の取り組み, 国土地理院時報, 第 117 集, 33-37
- ・大野裕幸・石井宏・中島最郎・高橋祥・渡部金一郎(2008) : 平成 20 年 (2008 年) 岩手・宮城内陸地震災害正射写真及び写真測量により判読した土砂災害の発生状況, 国土地理院時報, 第 117 集, 39-47

[地理調査部]

- ・齋藤俊信・渡辺哲也・新西正昭(2008) : 北海道サロベツ地区湖沼湿原調査, 国土地理院時報, 第 116 集, 9-18
- ・木佐貫順一・赤塚太・鶴生川太郎(2008) : 地球地図の整備とアフリカ, 日仏工業技術, Tome54 No.1 , 20-23
- ・鶴生川太郎・木佐貫順一・赤塚太(2008) : Introduction of the Global Map (地球地図の紹介), GEOGRAPHISCHE RUNDSCHAU-International Edition, Vol.4 No.04, 60-65
- ・木佐貫順一・関口辰夫・坂井尚登・野口高弘・田崎昭男(2008) : 平成 20 年 (2008 年) 岩手・宮城内陸地震に対する地理調査部の取り組み, 国土地理院時報, 第 117 集, 49-58
- ・福島芳和・中川勝登・木佐貫順一・梶川昌三・筒井俊洋・赤塚太・大宮清一・阿久津修・鶴生川太郎・小島脩平(2009) : Global Mapping Forum 2008 (地球地図フォーラム 2008 の開催) , 国土地理院報告, 第 56 巻, 17-26

[地理空間情報部]

- ・島田久嗣 (2008) : 基盤地図情報初期整備マニュアルについて, 建設関連業月報, 2008 年 5 月号, 12-16
- ・島田久嗣 (2008) : 基盤地図情報の提供について, 建設関連業月報, 2008 年 5 月号, 17-19
- ・島田久嗣 (2008) : 平成 20 年度の基盤地図情報の整備計画について, 建設関連業月報, 2008 年 5 月号, 20-21
- ・地理空間情報部 (2008) : 電子国土 Web システム普及版の公開活用, GIS NEXT, 第 24 号, 69
- ・地理空間情報部(2008) : 平成 20 年 (2008 年) 岩手・宮城内陸地震に対する地理空間情報部の取り組み, 国土地理院時報, 第 117 集, 59-62

[測地観測センター]

- ・豊福隆史・野口優子・古屋智秋・渡邊和夫・河和宏・木村有希子・小林勝博・東海林靖・阿部聡(2008) : 平成 20 年 (2008 年) 岩手・宮城内陸地震に伴う緊急の電子基準点復旧及び現地調査作業, 国土地理院時報, 第 117 集, 63-71
- ・宮原伐折羅・野神憩・梅沢武・岩下知真子・川元智司・飯村友三郎(2008) : GPS 連続観測システムが捉

えた平成 20 年 (2008 年) 岩手・宮城内陸地震に伴う地殻変動, 国土地理院時報, 第 117 集, 73-77

[地理地殻活動研究センター]

- ・小沢慎三郎・今給黎哲郎・飛田幹男・矢来博司・西村卓也・水藤尚(2008) : 平成 20 年 (2008 年) 岩手・宮城内陸地震による地殻変動と地震断層モデル, 国土地理院時報, 第 117 集, 79-80
- ・小荒井衛・長谷川裕之(2008) : 宅地防災対策への時系列地理情報の利活用, 地学教育と科学運動, 58・59 号, 51-58
- ・西村卓也・飛田幹男・矢来博司・雨貝知美・藤原みどり・宇根寛・小荒井衛(2008) : Episodic growth of fault-related folding in northern Japan, observed by SAR interferometry (SAR 干涉解析によって見つけた北日本における断層関連褶曲の突然の成長), Geophysical Research Letters (地球物理研究短報), 35 号, L13301
- ・小荒井衛・飛田幹男・矢来博司・中埜貴元・小白井亮一(2008) : ALOS PRISM 単画像による中国・四川省地震の地表地震断層の判読, 写真測量とリモートセンシング, 47 巻 3 号, 2-3
- ・岩橋純子・神谷泉・山岸宏光(2009) : LiDAR DEM を用いた表層崩壊のアセスメントに適する勾配と凹凸度の計算範囲の推定, 地形, 30 巻 1 号, 15-27
- ・畑中雄樹(2008) : A Compression Format and Tools for GNSS Observation Data (GNSS データ圧縮プログラムの開発), 国土地理院報告 (欧文), 第 55 巻, 21-30
- ・神谷泉 (2008) : Reduction of JPEG Noise from the ALOS PRISM Products (ALOS PRISM の画質の改善), 国土地理院報告 (欧文), 第 55 巻, 31-38
- ・神谷泉・荒木博志・祖父江真一(2008) : 月の地形図の作成, 地図, 46 巻 2 号, 36
- ・兒玉篤郎・飛田幹男・宗包浩志・山田晃子・高野和友・吉川正幸・阿部 馨・真野宏邦(2008) : 電子基準点「山形新庄」において冬季に見られる地盤変動, 国土地理院時報, 第 116 集, 19-24
- ・高島和宏・石原操 (2008) : 国土地理院における超長基線測量の変遷, 測地学会誌, 第 54 巻, 第 4 号, 205-219
- ・黒石裕樹(2009) : Improved geoid model determination for Japan from GRACE and a regional gravity field model (GRACE と地域的重力場モデルを用いた日本の改良ジオイド・モデルの決定), Earth Planets and Space
- ・鴨井幸彦, 小荒井衛, 小林健太 (2009) : 地形・地質と活断層 地震後の地形変化, 2007 年新潟県中越沖地震災害調査報告書
- ・宗包浩志・黒石裕樹・畑中雄樹・矢来博司(2008) : Spurious annual vertical deformations over Japan due to mismodelling of tropospheric delays (日本付近で見られる大気遅延量の誤推定に起因するみかけ上下年周変動について), Geophysical Journal International (地球物理学雑誌), 第 175 号, 831-836
- ・小沢慎三郎・今給黎哲郎・飛田幹男・矢来博司・西村卓也・水藤尚(2008) : 「平成 20 年 (2008 年) 岩手・宮城内陸地震」による地殻変動と地震断層モデル, 国土地理院時報, 第 117 集, 79-80
- ・岩橋純子 : 岩手・宮城内陸地震における栗駒ダム西方地域の斜面崩壊, 国土地理院時報, 第 117 集, 81-89
- ・今給黎 哲郎(2008) : (衛星の災害利用) : 測位衛星の防災利用, 計測と制御, Vol. 47 No. 12, 1000-1006
- ・小荒井衛・長谷川裕之・佐藤浩・宇根寛(2008) : 平成 19 年 (2007 年) 新潟県中越沖地震による建物被害と地盤変状, 地質汚染—医療地質—社会地質学会誌, 4 巻 1/2 号, 17-30
- ・神谷泉・小荒井衛・関口辰夫・岩橋純子・中埜貴元(2008) : 2008 年岩手・宮城内陸地震における荒砥沢ダム北方の水平変位, 写真測量とリモートセンシング, 47 巻 6 号, 38-43

- ・水藤尚・小沢慎三郎(2009)：東海地方の非定常地殻変動－東海スロースリップと2004年紀伊半島南東沖の地震の余効変動－，地震，第61巻，113-115
- ・高島和宏(2009)：国際VLBI事業(IVS)活動状況報告，2008年度VLBI懇談会シンポジウム集録
- ・飛田幹男・小沢慎三郎・矢来博司・西村卓也・水藤尚・今給黎哲郎・林文・宇根寛・雨貝知美(2009)：2007年スマトラ南部地震の地殻変動・地震断層と断層モデル，月刊「地球」，Vol.31No.3，181-188
- ・神谷泉・荒木博志・祖父江真(2008)：『「かぐや」が見た月の地形』の作成，地図，46巻4号，31
- ・西村卓也・飛田幹男・矢来博司・小沢慎三郎・村上亮・湯通堂亨・石本正芳・梅沢武・豊福隆史・川元智司・雨貝知美・藤原みどり・鈴木啓・塩谷俊治・佐々木俊行・横川正憲・大森秀一・田上節雄・池田尚應・根本盛行・水藤尚・林文・宇根寛・小荒井衛・津沢正晴(2008)：Crustal deformation and a preliminary fault model of the 2007 Chuetsu-oki earthquake observed by GPS, inSAR, and leveling (GPS, 干渉SAR, 水準測量によって観測された2007年中越沖地震の地殻変動と暫定的な断層モデル)，Earth Planets and Space, Vol60, 1093-1098
- ・宗包浩志・黒石裕樹・畑中雄樹・宮寄久(2008)：Simulation study of the impact of QZSS on land survey (準天頂衛星の地上測量への利用に関する数値模擬実験)，GPS/GNSS 国際シンポジウム 2008 集録，1087-1095
- ・畑中雄樹・黒石裕樹・宗包浩志・和田晃(2008)：Development of a GPS Augmentation Technique Utilizing QZSS Broadcasting (QZSS 放送を用いた GPS 補強技術の開発)，GPS/GNSS 国際シンポジウム 2008 集録，1097-1103
- ・岩橋純子・山岸宏光・神谷泉・佐藤浩(2008)：2004年7月新潟豪雨と10月新潟県中越地震による斜面崩壊の判別分析，日本地すべり学会誌，第45巻第1号，1-12
- ・小荒井衛・佐藤浩(2008)：平成19年(2007年)新潟県中越沖地震による斜面崩壊，地質学雑誌，Vol.14 No.1, 1-2
- ・佐藤浩・小荒井衛，江田敏幸・伊藤麻子(2008)：新宿御苑における航空レーザ測量データを用いた葉面積指数(LAI)のマッピング，Vol.47 No.3, 37-47
- ・小荒井衛・飯田洋・津留宏介・樋野隆司・峰島貞治・洲濱智幸・蔭山邦幸(2008)：高分解能衛星画像の地物判読特性についての体系的整理，地図，Vol.46 No.3, 13-28
- ・小荒井衛(2008)：ベクトル型GISデータを活用した災害に関する地理情報解析研究－火山土地条件図とDEMを使った磐梯火山の研究－，地学雑誌，Vol.117 No.2, 439-454
- ・小荒井衛・佐藤浩・宇根寛・天野一男(2008)：地質災害の各種光学高分解能衛星画像による判読－判読特性の視点から見た各種画像の比較検証－，地質学雑誌，Vol.114 No.12, 632-647
- ・佐藤浩・宇根寛・飛田幹男(2008)：2005年パキスタン北部地震による斜面崩壊の方位と地表変位の方位の関係について，日本地すべり学会，第45巻第2号，40-44
- ・小荒井衛・佐藤浩・新井場公德・小山内信智・伊藤英之(2008)：リモートセンシングで捉えたレイテ島地すべりの地形的特徴，日本地すべり学会，第45巻第2号，14-25

[東北地方測量部]

- ・直井貴之・菅原友恵・本嶋裕介(2008)：平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震に伴う東北地方測量部の取り組み－初動時における地理情報の提供－，国土地理院時報，第117集，3-6

[中部地方測量部]

- ・明野和彦（2008）：地理情報に関する国際標準化, JACIC 情報, Vol. 23, No. 2, 43-47
- ・明野和彦（2008）：Proceedings of ISO Workshop on address standards, http://www.isotc211.org/address/Copenhagen_Address_Workshop/workshop.htm

※執筆者、題名、論文名、発表項の順に掲載

注) この一覧は、国土地理院各部、各センター、各地方測量部、支所及び測地観測所に対する照会に基づき作成した。